

NEW!

神奈川県横浜市(南区大岡小学校周辺地区)

公園入口における子どもの 飛び出し事故防止に向けてハンプを設置



現地でハンプや狭さくの具体的な位置や形状を住民と
共有するとともに、ビッグデータを活用して課題や効果を提示



12. 神奈川県横浜市 (南区大岡小学校周辺地区)

広域図



背景の地図の出典: 国土地理院

整備計画等 策定状況	ゾーン 30 プラス
対策の内容	<ul style="list-style-type: none">➢ ゾーン 30 に指定➢ 単路部ハンプ 1 箇所➢ 交差点部ハンプ 1 箇所➢ 交差点部狭さく(両側)2 箇所➢ 単路部狭さく(両側)1 箇所 他
生活道路の 課題	<ul style="list-style-type: none">➢ 幹線道路からの抜け道利用が多く、車両の走行速度が高い(30km/h 以上の車両が 40~56%)ため、交通状況に危機感を持っていた住民が多かった➢ ゾーン 30 や路面表示等の対策を行ってきたが依然として交通事故が発生していた <p>*ETC2.0 プローブ情報</p>

NEW!

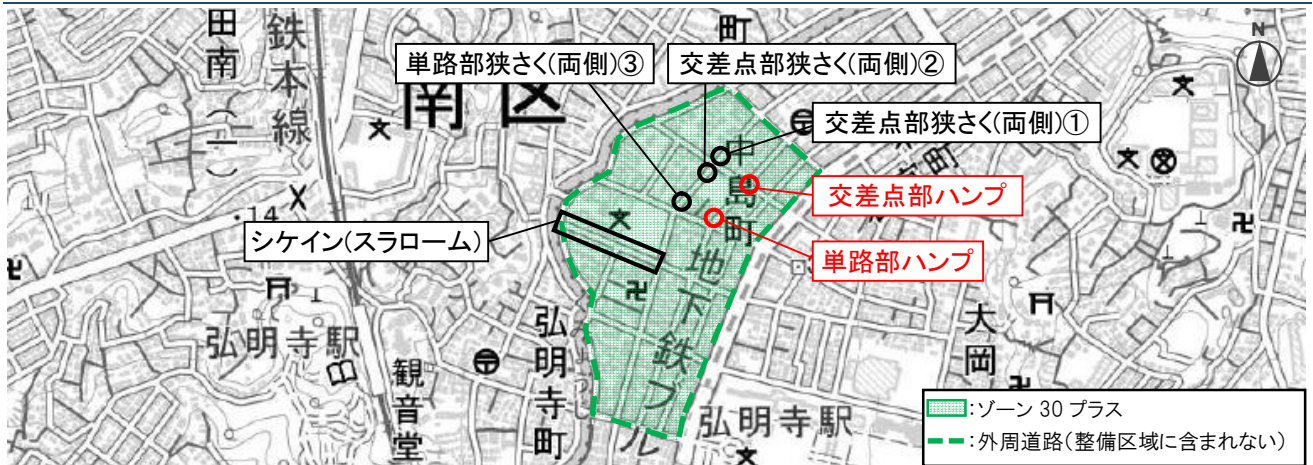
神奈川県横浜市(南区大岡小学校周辺地区)

設置の
特徴

公園入口における子どもの 飛び出し事故防止に向けてハンプを設置

物理的デバイスの概要(1/2)

設置箇所



背景の地図の出典: 国土地理院

設置内容

	内容	備考
設置箇所数	2箇所	
設置時期	2022年1月	
ハンプの形状	【単路部ハンプ】 ・平坦部の長さ 2m ・ハンプの高さ 10cm ・傾斜部の勾配 平均 5% 【交差点部ハンプ】 ・平坦部の長さ 3.7m ・ハンプの高さ 約 10cm ・傾斜部の勾配 平均 5%	・技術基準を参考 ・傾斜部はサイン曲線で施工 ・技術基準を参考 ・傾斜部はサイン曲線で施工
構造及び 付属施設	・傾斜部のカラー化 ・ゴム製ポール ・縁石 ・自発光鋲 ・路面表示 ・路側帯のカラー化	・傾斜部：ベンガラ ・交差点部ハンプの平坦部中央に設置 ・路側帯：緑
技術的な工夫	【単路部ハンプ】 ◆夜間でも視認できるようにゴム製ポールを設置 ◆公園の出入口に縁石とゴム製ポールとともにハンプを設置することで、子どもの公園からの飛び出し事故防止等に配慮 【交差点部ハンプ】 ◆主道路と従道路に元々高低差があったため、一律に 10cm 嵩上げするのではなく、現地状況に応じて施工 ◆住民の意見を踏まえ、交差道路側の視認性向上のためカーブミラーも同時に設置	

NEW!

神奈川県横浜市(南区大岡小学校周辺地区)

設置状況(1/2)

単路部ハンプ



概観



概観



公園出入口

交差点部ハンプ



概観



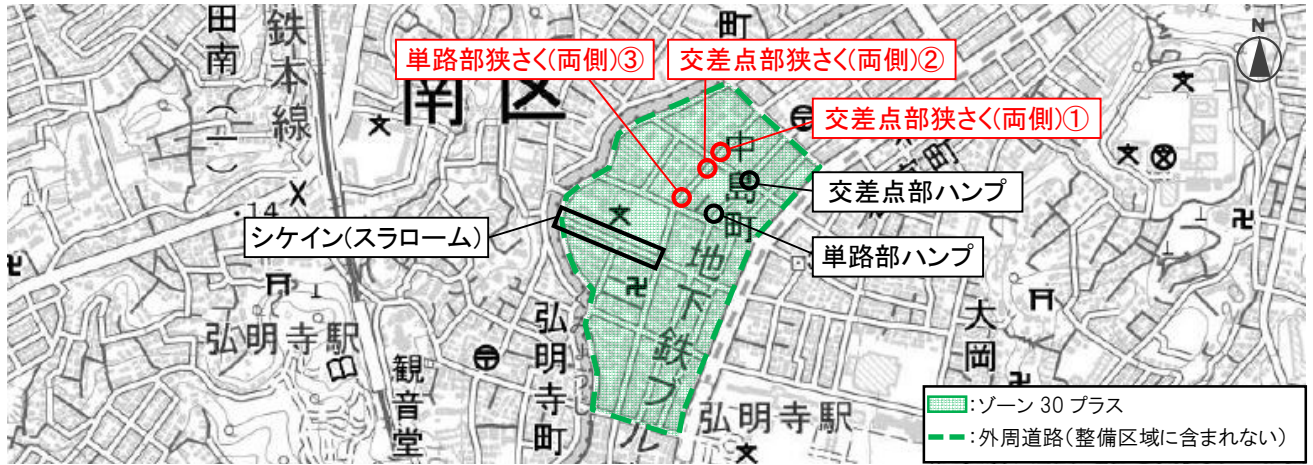
自発光鋳(平坦部中央)



路面表示

物理的デバイスの概要(2/2)

設置箇所



背景の地図の出典: 国土地理院

設置内容

	内容	備考
設置箇所数	3箇所	
設置時期	2022年1月	
狭さくの形状	<p>【交差点部狭さく(両側)①~②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭小部の幅員 3m ・狭小部の長さ 7m ・すりつけ部の長さ 2m <p>【単路部狭さく(両側)③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭小部の幅員 3m ・狭小部の長さ 7m ・すりつけ部の長さ 2m 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術基準を参考 ・技術基準を参考
構造及び付属施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム製ポール ・導流帯 ・路面表示 	
技術的な工夫	<p>【交差点部狭さく(両側)・単路部狭さく(両側)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆住民からの意見を踏まえ、狭小部のみゴム製ポールを設置 ◆ゴム製ポールだけでなく、減速路面表示をつけることで減速効果の向上を図った ◆車両の乗り入れやごみ収集車の一時停車を考慮し、ゴム製ポールの設置位置を決定 	

NEW!

神奈川県横浜市(南区大岡小学校周辺地区)

設置状況(2/2)



提供:横浜市

概観(交差点部狭さく(両側)①)



概観(交差点部狭さく(両側)②)



概観(交差点部狭さく(両側)②)

ごみの収集等に配慮して設置位置を決定



概観(単路部狭さく(両側)③)



概観(単路部狭さく(両側)③)



路面表示

NEW!

神奈川県横浜市(南区大岡小学校周辺地区)

**合意形成
のポイント**

**現地でハンプや狭さくの具体的な位置や形状を住民と
共有するとともに、ビッグデータを活用して課題や効果を提示**

設置に至るまでの経緯と合意形成の概要

**設置に至るまでの経緯
(道路管理者の動き)**

合意形成の概要

ゾーン 30 整備(2014.7)



本設置(2022.1)

- 交差点部ハンプ 1 箇所
- 単路部ハンプ 1 箇所
- 交差点部狭さく(両側) 2 箇所
- 単路部狭さく(両側) 1 箇所



ゾーン 30 プラス整備完了(2022.8)

2021.7 第 1 回大岡小学校周辺地区における交通安全対策協議会

- 大岡小学校周辺地区の状況、課題の共有
- 交通安全対策案の紹介

Point 協議会の結果や効果測定結果の情報は「協議会ニュース」として配布

現地立会(設置位置と車両出入りの影響・ごみ収集車停車位置等確認)

2021.11 事前効果測定(7時~19時)

- 車両速度調査(ビデオ)


2021.11 第 2 回大岡小学校周辺地区における交通安全対策協議会

- 第 2 回協議会までに行った調整事項
- 最終対策案
- 効果測定の概要

2022.1 事後効果測定

- 車両速度調査(ビデオ)(7時~19時)
- ETC2.0 プローブ情報分析
- アンケート調査

PDCA の中での合意形成の内容とポイント

段階	説明手法・内容	道路管理者の考える合意形成のポイント 
<p>現況調査 計画策定 <Plan></p>	<p>❖ 第1回大岡小学校周辺地区における交通安全対策協議会 実施日 2021年7月20日 参加者 自治会、学校関係者、横浜市、南警察署 提示資料 大岡小学校周辺地区の課題の共有 交通安全対策案について</p> <p>❖ 交通安全対策協議会ニュース vol.1 発行 2021年9月 内容 第1回協議会での主な意見 大岡小学校周辺地区の交通・事故発生状況 速度抑制対策について</p> <p>❖ 事前効果測定 実施日 2021年11月17日 内容 対策実施前の交通状況を調査(ビデオ調査)</p> <p>❖ 第2回大岡小学校周辺地区における交通安全対策協議会 実施日 2021年11月25日 参加者 自治会、学校関係者、横浜市、南警察署 提示資料 第1回協議会の振り返り 第2回協議会までに行った調整事項 最終対策案の決定 効果測定の概要</p> <p>❖ 交通安全対策協議会ニュース vol.2 発行 2021年12月 内容 第2回協議会での主な意見 対策工事時期のお知らせ 対策内容、対策イメージについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ETC2.0 プローブ情報分析結果を提示し、地区の課題をわかりやすく説明 あらかじめ現地立会にて沿道住民にデバイスの設置位置や形状を説明し、車両の出入りへの影響についても確認したおかげで、対策案についてスムーズに了解が得られた
<p>対策実施 <Do></p>	<p>❖ 本設置 運用開始 2022年1月</p>	
<p>評価 <Check></p>	<p>❖ 事後効果測定 実施日 2022年1月 内容 対策実施後の交通状況を調査(ETC2.0 プローブ情報分析、ビデオ調査)</p> <p>❖ 交通安全対策協議会ニュース vol.3 発行 2022年9月 内容 ゾーン30プラスについて ETC2.0 プローブ情報分析結果について アンケート調査結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ETC2.0 プローブ情報分析の結果、ランプ・狭く設置路線において車両速度の低下及び30km/h以上で走行する車両割合の低下を確認 事後効果測定によるランプ・狭く設置効果をわかりやすく紹介 対策後に苦情は一度も聞いていない
<p>対策改善 <Action></p>		

NEW!

合意形成における道路管理者からみた特筆事項

<p>円滑な検討に 結びついた点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 元々交通状況に危機感を持った住民が多かったが、ETC2.0 プローブ情報を活用してあらためて地区の課題を提示したことにより、交通安全対策の必要性について理解を得ることができた。 ◆ 事前に物理的デバイスについて沿道住民にしっかりと説明を行い、車両の出入りへの影響も現地で確認していたおかげで、手戻りなくスムーズに設置まで行うことができた。
<p>考えられる 今後の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 物理的デバイスの設置条件・対策効果等の理解・認知度を上げることで、今後、より一層住民との早期の合意形成が可能になると考える。